



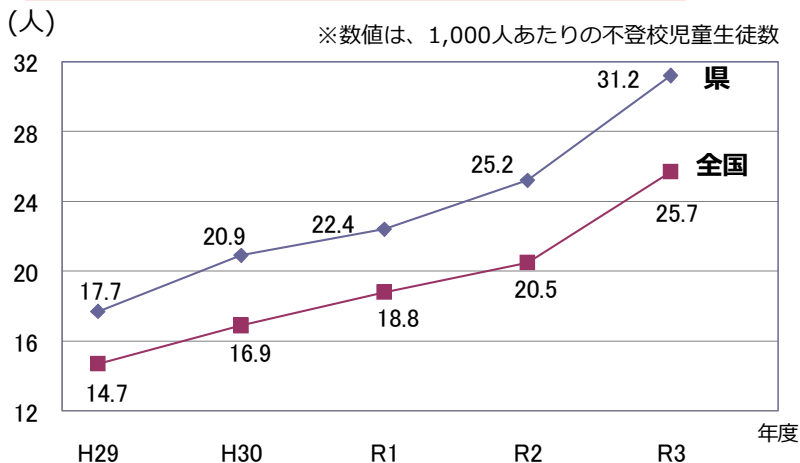
Topics
1

令和3年度児童生徒の生徒指導上の諸課題に関する調査の結果について

「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」(文部科学省)の結果が10月27日に公表されました。本県の状況は以下のとおりです。

▶ 調査結果の概要

■ 小・中学校における不登校児童生徒数 (国公立学校)

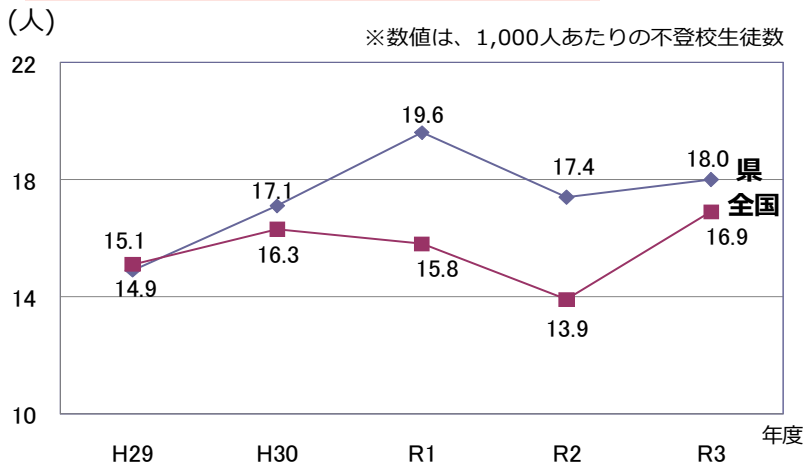


・小・中学校における1,000人あたりの不登校児童生徒数は31.2人で、令和2年度から6.0人増加しています。

・全国平均も5.2人増加しており、生活環境の変化により生活リズムが乱れやすい状況や、学校生活において様々な制限がある中で交友関係を築くことなど、登校する意欲が湧きにくい状況にあったこと等が背景にあるとされています。

・「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨等を踏まえ、個々の児童生徒の状況に応じた必要な支援を関係機関と連携して行うことが重要です。

■ 高等学校における不登校生徒数 (国公立学校)

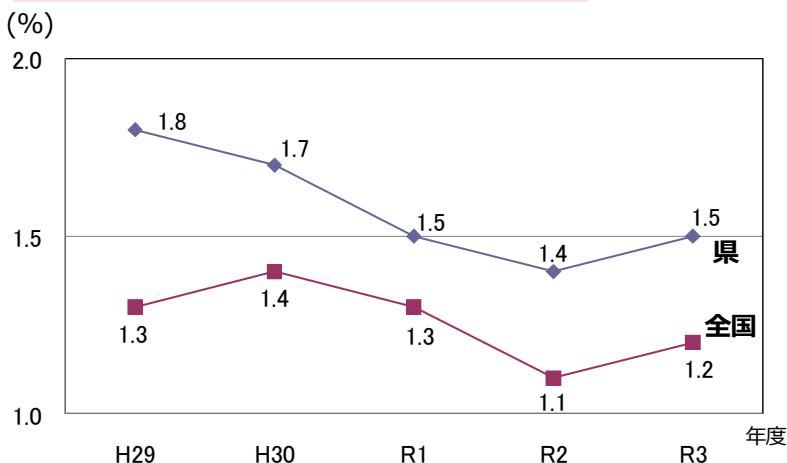


・高等学校における1,000人あたりの不登校生徒数は18.0人で、令和2年度から0.6人増加しています。

・不登校の要因は、学業不振、学校での人間関係、家庭環境など、複雑な要因が絡み合っている場合が多くなっています。

・中学校段階で不登校を経験した生徒が高等学校に入学している現状を踏まえ、中学校からの確実な引継ぎと個に応じた支援が必要です。

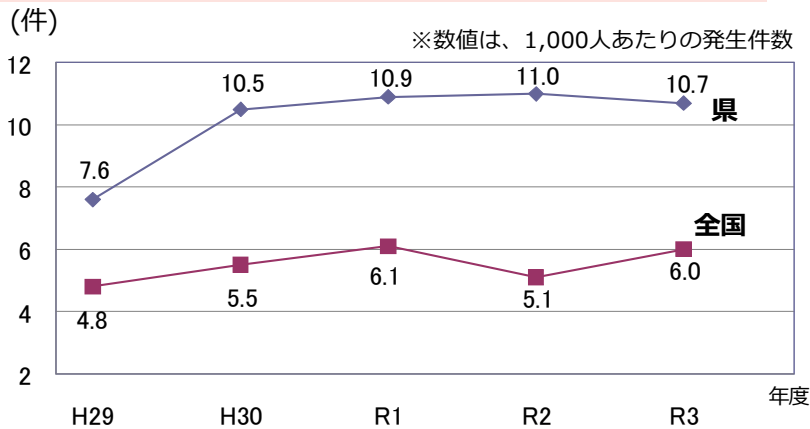
■ 高等学校における中途退学率 (国公立学校)



・高等学校における中途退学率は1.5%となり、令和2年度から0.1ポイント増加しました。全国平均も0.1ポイント増加しており、減少傾向にあった状況が増加に転じています。

・引き続き、各学校において、生徒の社会的自立を目指して中途退学にならないように支援することが重要です。

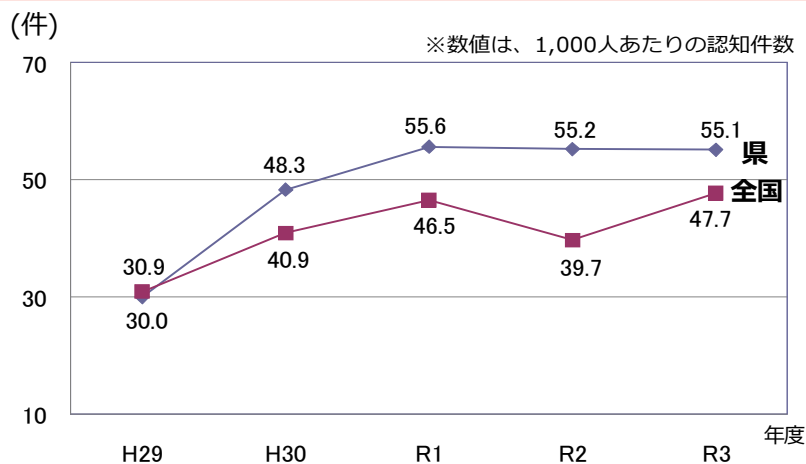
■小・中・高等学校における暴力行為の発生件数（国公立学校）



・小・中・高等学校における暴力行為の1,000人あたりの発生件数は、令和2年度から0.3件減少しました。

・人間関係の構築や感情のコントロールが苦手な児童生徒、発達上の課題など配慮を要する児童生徒への理解と支援が進んでいます。引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から児童生徒がストレスを抱える状況にあることを踏まえた対応が重要です。

■小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数（国公立学校）



・小・中・高・特別支援学校における1,000人あたりのいじめの認知件数は55.1件で、令和2年度からわずかに減少しました。

・認知されたいじめの多くは、冷やかしかからかいといった内容である一方、SNS上でのトラブルが増えています。重篤ないじめも数件発生しており、軽微なものから積極的に認知し、いじめ防止に向けた組織的な取組を一層推進することが重要です。

<調査結果に対する文部科学省のコメント>

新型コロナウイルス感染症によって学校や家庭における生活や環境が大きく変化し、児童生徒の行動等にも大きな影響を与えていることがうかがえる。人と人の距離が広がる中、不安や悩みを相談できない児童生徒がいる可能性があること、児童生徒の不安や悩みが従来とは異なる形で現れたり、一人で抱え込んだりする可能性があることも考慮する必要があり、引き続き周囲の大人が児童生徒のSOSを受け止め、組織的な対応を行い、外部の関係機関等に繋げて対処していくことが重要である。

教職員の皆さまへ

県教育委員会では、不登校や暴力行為、いじめなどの生徒指導上の諸課題を令和5年度までに全国平均まで改善することを目指して、「未然防止」「初期対応」「自立支援」の3つの観点で取組を進めています。

特に小・中学校の不登校が増加している状況を踏まえ、全ての児童生徒にとって安心・安全で居心地のよい学校づくりを進めるとともに（未然防止）、児童生徒の些細な変化に気づき、早期発見・早期対応を行う体制（初期対応）と、個々の状況や抱えている課題に応じたきめ細かな支援（自立支援）が行われるようお願いいたします。



調査結果の詳細は人権教育・児童生徒課ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310801/>



人権教育・児童生徒課 いじめ問題対策担当

TEL : 088-821-4722

令和5年4月に新たな県立安芸中学校・高等学校が開校します。



写真はイメージ図です

平成30年12月に策定した「県立高等学校再編振興計画『後期実施計画』」において、現在の県立安芸中学校・高等学校と安芸桜ヶ丘高等学校とを統合し、新たな県立安芸中学校・高等学校を現在の安芸桜ヶ丘高等学校の敷地に設置することとしています。同校は、令和5年4月に普通科・工業に関する学科（機械土木科）・商業に関する学科（ビジネス科）を有する県東部地域唯一の併設型中高一貫教育校として開校します。

令和2年度には、校訓を「信愛・誠実・努力」に、教育目標（目指す生徒像）や目指す学校像を以下のように決定しました。また、同校の制服が決定し、中

学生は令和3年度の入学生から、高校生は令和5年度の入学生から、順次着用することとなりました。

目指す生徒像 - 教育目標 -

- **自己実現**：自己の目標を設定し、その実現に向けて主体的に学び続ける生徒
- **文武両道**：確かな学力、豊かな心情、心身の健康を目指し、礼儀と秩序を尊ぶ生徒
- **自主自律**：普通科、専門科の特色を生かし、自ら求め、考え、行動できる生徒
- **地域貢献**：地域の課題を探究し、地域を牽引する意欲をもった生徒

目指す学校像 - 東部地域の『拠点校』 -

- **『学び』の拠点**
6年間を通じた中高一貫教育と普通科教育及び専門科教育の強みを横断的に生かし、大学進学から就職まで、生徒一人一人の希望進路に対応できる学びを実現します。
- **『部活動』の拠点**
地域の文化やニーズを踏まえた部活動の充実を図り、主体性や協調性、責任感を身に付けた豊かな人間性の育成を目指します。
- **『地域』の拠点**
グローバルな視野を持ち、地域を牽引し、支えることができる人材の育成を目指します。

令和3年度にスクールカラーを「青色」とするとともに、本年度新たな校章を決定しました。また、校歌については校歌制作委員会を立ち上げ、県立安芸中学校・高等学校と安芸桜ヶ丘高等学校の代表生徒が作詞を行いました。作曲は専門家（本県出身の作曲家 松下 倫士氏）に依頼しているところです。

現在、安芸桜ヶ丘高等学校の敷地では、校舎棟及び体育館の新築工事が行われており、校舎棟は令和6年3月に、体育館は令和5年12月に完成予定となっています。このため、令和5年度については、中学校及び高等学校普通科の生徒は現在の県立安芸中学校・高等学校の校舎で、高等学校機械土木科及びビジネス科の生徒は現在の安芸桜ヶ丘高等学校の校舎で学習することとなっています。

新たな県立安芸中学校・高等学校の校章



校章のコンセプト

多面的に広げる視野の育成を心象にした立体的なデザインです。また海原渡る帆船に着想した、凛とそびえる書体の安芸の頭文字“ A ”と中学校の“ J ”、高等学校は“ H ”を帆の象徴として掲げて、時勢の風調と波調を読みとるグローバル視野と探究心を培う育成方針を表現した校章となります。（制作者）

新しい制服（冬服）



詳しくは高等学校振興課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311801/>



高等学校振興課 振興担当
TEL : 088-821-4542

幼保小の架け橋プログラム事業がスタート

本年度より、文部科学省による「幼保小の架け橋プログラム」が始まっています。これは3年間の計画で、現在全国の19の地域で架け橋期（5歳児から小学1年生の2年間）のカリキュラムの開発が進められています。県教育委員会では、高知市教育委員会及び同市こども未来部と連携し、高知市春野東小学校区（5園・1小学校）で架け橋プログラム事業に取り組んでいます。今後、本県のモデルとなるカリキュラムを開発し、県内全域への普及を進めます。



【幼保小の架け橋プログラムとは】

子どもに関わる大人が立場の違いを超えて自分事として連携・協働し、この時期にふさわしい**主体的・対話的で深い学びの実現**を図り、一人一人の多様性に配慮した上で**全ての子どもに学びや生活の基盤を育めるようにすること**を目指すものです。

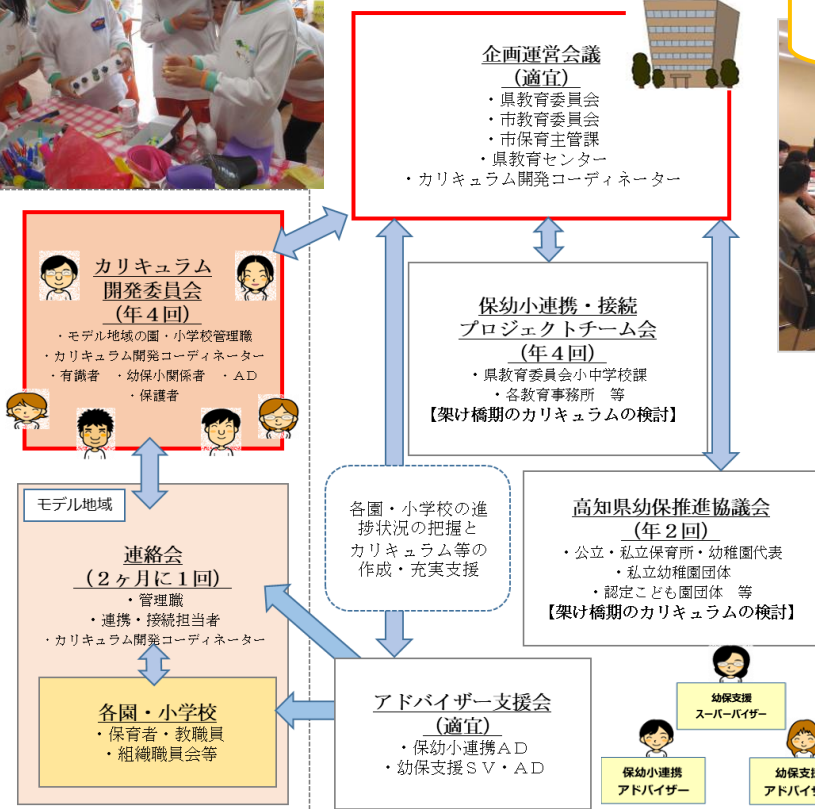
【幼保小の架け橋プログラムのねらい】

- ◎ 幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育と小学校教育の関係者が連携して、**カリキュラム・教育方法の充実・改善にあたること**を推進すること
- ◎ 小学校学習指導要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針等、特に「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の正しい理解**」を促し、教育方法の改善に生かしていくことができる手立てを普及していくこと
- ◎ 架け橋期に園の先生が行っている環境の構成や子どもへの関わり方に関する**工夫を見える化し、家庭や地域にも普及**すること 等

モデル地区：高知市春野東小学校区の実践

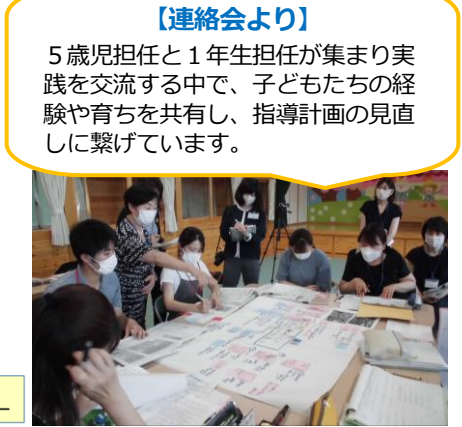


【架け橋プログラム事業 体制図】



【カリキュラム開発委員会より】

地域の実態把握から目指す子ども像や方向性の共有をしました。



【連絡会より】

5歳児担任と1年生担任が集まり実践を交流する中で、子どもたちの経験や育ちを共有し、指導計画の見直しに繋がっています。

【連絡会参加者の振り返りより】

- ・ 小学校がゼロからのスタートではなく、園の経験があるから小学校でも力を発揮できていると分かった。教材研究では、園での活動や経験を知ることができた。園での経験を子どもに聞いて、それを基にして授業を発展させたい。(1年担任)
- ・ 送り出す子どもについて同じ方向で話し合えることが嬉しい。また、送り出した子どもの育ちの振り返りになった。園では、5歳ならではの遊びの保障をしていきたい。(園長)



詳しくは、幼保支援課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310601/>



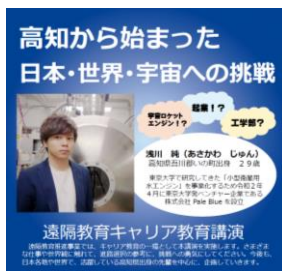
幼保支援課 幼児教育担当
TEL : 088-821-4881

【遠隔教育推進事業】キャリア教育講演会配信！

高知県教育センターでは、遠隔教育推進事業の一環として、令和2年度から、中山間地域の小規模高等学校等に対してキャリア教育講演会を開催しています。講師には、高校生が10年後の自分の姿をイメージできるように、ロールモデルとして、本県出身者を中心に日本や世界で活躍する20代後半の方を招聘してきました。

第1回は、小型衛星用水エンジンを実業化するためベンチャー企業を設立した、浅川 純さんに登壇いただき「高知から始まった日本・世界・宇宙への挑戦」と題して講演していただきました。第3回にはパラリンピック開会式の衣装デザインを担当したニューヨーク在住のファッションデザイナー、小西 翔さんに登壇いただき、高校時代の葛藤、東京の専門学校からパリやニューヨークに飛び出し夢を実現してきたことについて講演していただきました。このようにキャリア教育講演会では、チャレンジ精神をもち、自己実現を果たしている講師を招聘しており、参加した生徒たちは彼らの生き方に共感し、挑戦への勇気をもらっています。

今までに実施したキャリア教育講演会(講師敬称略)



第1回(R2.12.22) 浅川 純



第2回(R3.4.20) 楠瀬まどか



第3回(R3.6.23) 小西 翔



第4回(R3.10.27/11.16) 森田 眞麻



第5回(R4.4.27) 井上 有加



第6回(R4.6.21) 中島さち子

第7回(R4.10)の講演会は、これまでのキャリア教育講演会の成果を広げるため、**対象校を全ての県立高等学校等に拡大し**、14校からの参加がありました。講師には、高知市出身で現在、檮原町で地域医療に携わっている医師、岩本 啓寛さん(27歳)に登壇いただき、檮原高等学校から配信しました。講演後の質疑では「医師になって、思っていたこととは違うと感じることは何ですか」「医師としてこれからどのような姿を目指しますか」「大学の面接では何を聞かれましたか」「暗記が多い科目の勉強方法についてアドバイスをお願いします」など、自分の将来の姿と重ねてみたり、受験への課題解決に役立てようとしたりするなど、年齢の近い講師への素直な質問が数多くありました。また、アンケートには「頑張ろうと思えた」「決断する力を身に付けたい」「これからの人生や、受験勉強を乗り越えていこうと思えた」などの記述が多く見られ、学業に対するモチベーションの向上や将来の夢の実現につなげようとする様子がうかがえました。

今後も、全ての県立高等学校等を対象に、生徒のキャリアデザイン力を育成していくため、多くのロールモデルを紹介していきます。特に、世界で活躍する本県出身の若者を、高校生たちに紹介していきたいと考えていますので、講師情報をお持ちの方は、是非、高知県教育センターまでお知らせください。お待ちしております。



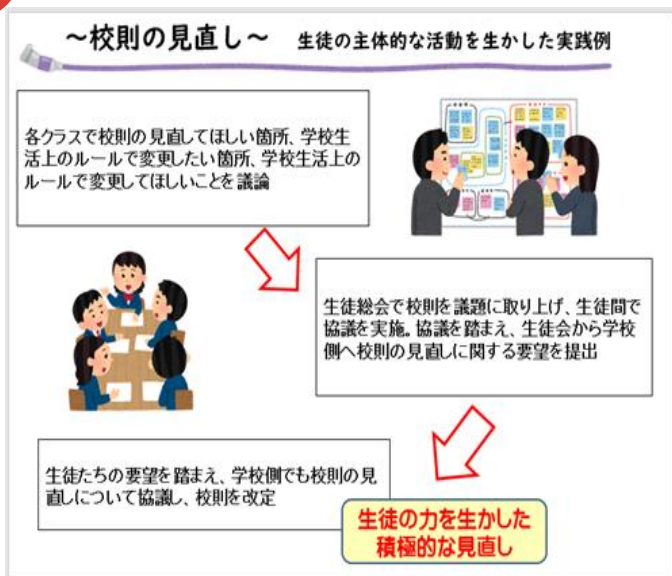
▲ 檮原高等学校から配信の様子



詳しくは高知県教育センターホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/>



高知県教育センター次世代型教育推進担当
TEL : 088-821-7385



生徒指導に関する基本書となる『生徒指導提要』が改訂され、校則について、社会的に注目されるようになってきています。この改訂に伴い、校則の見直しに関して児童生徒の関わり方が示されるようになります。また、校則の見直しの過程に児童生徒が関わることで児童生徒の主体性を培う機会になり、また保護者の参画により学校への理解が深まり、連携・協働しながら教育を進める一助になると考えられます。

校則の内容について、普段から学校内外に関わらず参照できるように、学校のホームページ等に公開したり、校則を制定した背景についても示したりと、児童生徒が自分事として校則の意味を理解できるような工夫も大切です。

校則の見直しの過程を大切にしたい取組が、今後も各学校の実情に応じて推進されるよう、よろしくお願いいたします。



『生徒指導提要』改訂については、文部科学省初等中等教育局
児童生徒課ホームページに掲載されています。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm



人権教育・児童生徒課
いじめ問題対策担当
TEL : 088-821-4722

高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2022

県教育委員会では、12月と1月に「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2022」を高知市中央公園とオーテピア高知図書館で行います。

このフォーラムは「食」をテーマに子どもたちの生活習慣の維持・向上、定着の重要性を伝え、地域一丸となった取組をより一層促進することを目的に開催するもので、楽しく食べ、楽しく学ぶことの大切さを広くお伝えするイベントです。ぜひ、皆さまの来場をお待ちしております。

高知市中央公園：令和4年12月11日（日）10:00～15:00

ステージイベント

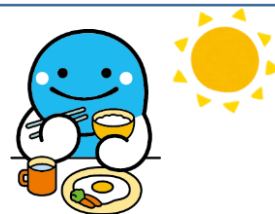
- 10:00～ ラフアロ
(早寝早起き朝ごはんオープニングダンス)
- 10:30～ 祭三代・IKU!
- 10:50～ ダンスクリーム Jr.
- 11:20～ KOCHI 中高生ミュージカル部『SKY』
- 13:00～ 青龍 (よさこい)
- 13:50～ 家族対抗文旦早剥き大会
※開始時刻は変更になる場合があります

体験コーナー

- ・ユズ手絞り体験
- ・親子バレーアート教室
(①10:20②11:00③13:20④14:20) 各10組
- ・野菜摂取量を測定しよう
(手の平から測定できるよ カゴメベジチェック)
- ・バッジ作り
(くろしおくん、早寝早起き朝ごはんキャラクター)
- ・輪投げ (参加者にはお菓子のプレゼント)

テントブース

- ・キッチンカー、食の販売など盛りだくさん
- ・食育をテーマにした展示・販売
- ・スタンプラリー (先着200名に工作筆箱プレゼント)
- ・高知県食生活改善推進委員会 (先着70名にメニュー・キッチングッズプレゼント)



オーテピア高知図書館：令和5年1月22日（日）13:30～16:15

- 13:30～13:45 開会行事
 - 13:45～14:05 実践発表
 - 14:05～15:35 講演
 - 15:35～15:45 休憩
 - 15:45～16:05 J A 高知県によるお米のお話
 - 16:05～16:15 閉会行事
- 参加無料 ※申込み要
- 託児あり
- 会場200名

学校法人服部学園 服部栄養専門学校
理事長・校長/医学博士/和食親善大使
服部 幸應 氏

講演

『生活の基本は食育から』
※Zoomでの参加も可能です。
(後日 URL をお送りします)



詳しくは12月上旬以降に、生涯学習課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310401/>



生涯学習課 社会教育支援担当
TEL : 088-821-4911

【県立学校】高知県電子図書館が使える利用者ID登録中！！

現在、高知県電子図書館では、県立の中学校・高等学校・特別支援学校に対して、google アカウント（○○@g.kochinet.ed.jp）の「○○」部分を利用者IDとして使えるよう申込みを受け付けています。すでに特別支援学校と県立学校13校から申請があり合計4,058人の登録が完了しています。ぜひ、ご活用ください。
※申込みには学校で取りまとめが必要です。同意書や申込方法はすでに各校にお知らせしていますので、不明な場合は自校の担当者にご確認願います。

高知県電子図書館のこんなところが便利！

- オートピア高知図書館に行かなくても、高知県電子図書館にアクセスできるネット環境と機器（もちろんタブレット端末もOK）があれば、約5,800タイトルの電子書籍が無料で読めます！
- 英語の読み上げ機能がついているもの（Read-Along）はリスニングの練習にも使えます。（日本語の読み上げ機能がついているものもあります）
- 本を返し忘れても、自動で返却されるから安心！

ご利用のルール

貸出点数	3点まで	貸出期間	14日間
予約点数	3点まで	予約取置期間	7日間
貸出延長	1回(14日間)のみ ※次に予約者がいない場合		

※貸出中の場合は予約することができます ※返却期限後は自動返却されます



こんな本が読めます(抜粋)



- ①『子供の科学』(誠文堂新光社 出版)／②『AI vs.教科書が読めない子どもたち』(新井紀子 著)／③『お仕事ナビ1』(お仕事ナビ編集室 編)／④『経済学の名著 50冊が1冊でざっと学べる』(蔭山克秀 著)／⑤『きみはいい子』(中脇初枝 著)／⑥『小論文これだけ！模範解答人文・情報・教育編』(樋口裕一・大原理志 著)／⑦『Art and Culture: Diwali: Addition and Subtraction』(Otterman, Joseph. 著)／⑧『マンガでわかるLGBTQ+』(パレットーク 著)／⑨『Afterlives』(Gurnah Abdulrazak 著)／⑩『月刊天文ガイド』(誠文堂新光社 出版)／⑪『勉強力がぐんとアップする合格ノート術』(主婦と生活社 出版)／⑫『農耕と園藝 鳥獣害対策の今』(誠文堂新光社 出版)／⑬『多聴多読マガジン』(コスモピア 出版)／⑭『ネイティブが教える日本人が絶対間違える英語大全』(ジェームス・M.パーダマン 著)／⑮『いざという時に結果を出す本番力』(和田裕美 著)／⑯『ビジネスマナーBOOK』(岩下宣子 監修)／⑰『バッテリー1』(あさのあつこ 著)／⑱『うちの子はADHD』(かなしろ にゃんこ. 著)／田中康雄 監修)



高知県電子図書館ホームページはこちら
<https://web.d-library.jp/kochi/g0101/top/>



高知県立図書館 電子図書館担当
TEL : 088-802-6005

高知みらい科学館イベント「科学館がやってくる EAST・WEST」

高知みらい科学館がオーテピアを飛び出して、県東部・西部で科学イベントを行います。会場では、サイエンスショーや星空シアター、工作コーナー、展示コーナーなどを実施する予定です。

詳しくは、令和5年1月5日（木）以降に、高知みらい科学館のホームページをご確認ください。「高知家まなびばこ教職員ポータルサイト」生涯学習課サイトからアクセスできます。

【東部】科学館がやってくる EAST

日時：令和5年2月5日（日）10：30～15：30

場所：田野町ふれあいセンター

【西部】科学館がやってくる WEST

日時：令和5年2月12日（日）10：30～15：30

場所：土佐西南大規模公園ふるさと総合センター（黒潮町）

内容（2会場共通）

- ・サイエンスショー
- ・工作コーナー
- ・星空シアター
- ・展示コーナー など



サイエンスショー



星空シアター



詳しくは令和5年1月5日（木）以降に、高知みらい科学館ホームページをご覧ください。

<https://otepia.kochi.jp/science/>

※「高知家まなびばこ教職員ポータルサイト」生涯学習課サイトからアクセスできます。



高知みらい科学館

TEL：088-823-7767

あの子にぴったりなバリアフリー図書、あります！

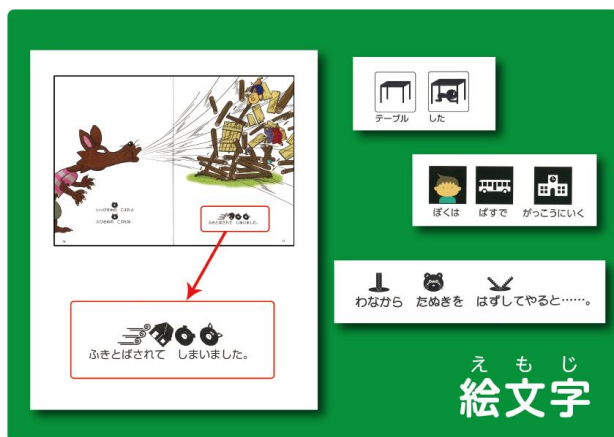
あなたのまわりにこんな児童・生徒はいませんか？

- ・通常の文章表現では難しく本が読みにくい（発達障害、知的障害、日本語が不得意など）
- ・活字をそのままの大きさと読めない、小さな字が読みづらい

図書館には、どんな方にも読書を楽しんでもらえるバリアフリー図書があります。今回ご紹介する LLブックや大活字本以外にも、さまざまな本やサービスがありますので、ぜひご利用ください。

LLブック

写真や絵、絵文字（ピクトグラム）、分かち書きでやさしく読みやすい。仮定や抽象的な表現を避ける、時系列に沿うようにするなどの工夫も。



大活字本

見やすい書体と大きなフォントで、行間も調整され読みやすい。黒い紙に白い文字で印刷した白黒反転版も。



このほかにもいろいろな資料やサービスがあります。

詳しくはオーテピア高知図書館ホームページをご覧ください。

<https://otepia.kochi.jp/library/use.html>



オーテピア高知図書館
バリアフリーサービス担当

TEL：088-823-4946

<発行者> 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL：088-821-4731 FAX：088-821-4558 E-mail：310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 Web サイト：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

高知県(持続可能な開発目標 (SDGs) に向けて取り組んでいます。

